

43f 花きの県別生産出荷概況(7月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	7月出荷見込み 千本		主産地	7月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
トルコギキョウ	山形県	30 (99%)	ポヤージュシリーズ、ピッコロサシリーズ、ロジーナシリーズ、他白八重、他ピンク八重、他黄八重、一重	1,167 (99%)	443 (100%)	JA新庄、JA新庄もがみ JA山形もがみ、JA鶴岡 JA庄内たがわ、JA庄内みどり JA山形市 ほか	30	35	35
	茨城県	10 (100%)	パレオピンク、クラリスピンク、ボレロブルーフラッシュ、ロマンスグリーン、北斗星、海ほのか 他	550	400	水戸市 常陸大宮市 筑西市 銚田市 他	30	35	35
	群馬県	7 (100%)	ピッコロサスノー、春うらら、ダブルピンク、キンポオプスノー、一番星、あずまの碧波	300 (100%)	60 (100%)	利根沼田 邑楽館林 甘楽豊岡	40	30	30
	千葉県	5 (100%)	ピッコロサスノー、春うらら、ポヤージュホホワイト、ボレロシリーズ等	460 (100%)	345 (100%)	館山市 鴨川市 南房総市(八幡山、丁会)	30	30	40
	宮崎県	2.6 (104%)	ボレロホホワイト、ダイヤモンドピーチ、サルサマリン	6 (137%)	- (0%)	宮崎中央 日向	100	0	0
菊	茨城県	143 (100%)	玉姫、夏ひかり、夏しぐれ、夏あそび、紅織、あかね、雪舟、やよい、小雨 他	5,500	4,500	茨城町、小美玉市、笠間市、筑西市、牛久市 他	40	35	25
	山梨県	3.7 (90%)	スーパーレー等	12 (91%)	9 (90%)	笛吹市(八代町)	30	35	35
	宮崎県	34.8 (90%)	優花、岩の白扇、文化の旭、夏光花	600 (76%)	1 (50%)	国富、都城、こばやし、えびの市、尾鈴	30	30	40

バラ	茨城県	11 (98%)	ローテローザ、サムライ、ワム、アプリ コット他	650	520	茨城町、笠間市、筑西 市、石岡市、かすみがう ら市	30	40	30
	群馬県	15.3 (90%)	アヴァランチェ、サムライ他多数品種	890 (95%)	680 (100%)	利根沼田、前橋市、甘楽 豊岡	35	35	30
	千葉県	3.6 (100%)	サムライ、ザ・テレサ、ローテローゼ、ノ ブレス	95 (100%)	76 (100%)	鴨川市、南房総市	40	35	15
		2.4 (84%)	サムライ、アマダ	-	-	茂原市	35	35	30
		0.8 (100%)	ローテローゼ、ロレーナ等	50 (100%)	50 (100%)	神崎町	35	35	30
	山梨県	3.8 (93%)	ローテローゼ、サムライ等	330 (97%)	320 (103%)	笛吹市(御坂町)	35	35	30

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	7月出し作型の生育は、平年並みで、病害虫の発生は少ない。本格的な出荷は7月上旬からで、品質は良好と見込まれる。	<p>現状</p> <p>中旬以降、西南暖地の遅れていた品物を中心に増加。高冷地の長野、山形、福島、また茨城、千葉と出揃い安定した出荷。販売面では天候の影響もあり小売店の動きも鈍く厳しい販売展開となった。</p>
	<p>・6月出荷予定のものが7月上旬までずれ込む見込み。 ・7月出荷予定のものの生育は平年並み。</p>	<p>見通し</p> <p>大田花き 天候の影響にもよるが高冷地産地、主力の長野、山形を中心に出揃い安定した入荷が見込まれる。販売面では新盆の需要があり前半の動きは見込まれるが、下旬に関しては例年同様、厳しい販売が見込まれる。</p>
	冬から春の低温の影響で、生育、出荷は全体的に遅れ気味である。出荷量に大きな変動はない。平坦地は、例年7月中旬頃の出荷終了が月末いっぱいまでずれ込み、中山間地の出荷ピークは、8月上旬頃を見込む。	<p>FAJ 高冷地の出荷の本格化が遅れているため、暖地の2番花の切れ上がりの上旬には入荷が減る見込み。</p> <p>第一花き 業務・新盆需要中心の流れ、産地・品質格差の単価差ははる。暖地産の入荷もあり厳しい流れが予想される。 @90</p> <p>世田谷花き 北海道からの入荷も始まる。山形は春先の低気圧の影響で、遅れ気味。</p>
	神戸地区は6月から季咲きに切り替わり品質が向上。開花の遅れもなく順調。	<p>東日本板橋花き 高冷地も生育遅れ気味だったが、好天が続いたこともあり、例年なみの出荷開始時期になる。</p> <p>東京フラワーポート 暖地が終わり、価格は安定。入り本数が少ないため箱数は増。</p>
	ほとんどが6月いっぱいに出荷終盤。出荷は7月第2週で終了の予定。全体的に遅れ気味であったので、品質は良いものが残っている。	
菊	一部の産地で降雹(5/6)による施設の被害あり。寒さの影響で草丈短め。春先の台風等の影響で一部短幹傾向。	<p>現状</p> <p>周年産地は品種の切り替え時期であるが、秋系の品種も比較的安定して入荷し、出始めの夏系品種と重なった。また需要は業務、小売とも動きは無く低迷した相場が続いた。</p>
	生育は順調。	<p>見通し</p> <p>大田花き 各産地7月盆向けの作付けは大きく行っていないが、全国的な需要期では無いため、東京向けの割合が高まり徐々に増加傾向。需要も7月盆中心となる見込み。</p> <p>FAJ 台風の影響を受け、若干等級が落ちる見込み。上旬が7月盆向けの引き合いが出始める。業務・新盆需要中心の流れ、入荷状況によるか概ね例年並みの流れが予想される。 @90</p> <p>第一花き</p>
	日量200ケース程度。下旬にかけてこばやし量が増の見込み。長雨の影響で若干品質が低下。白サビの発生も見られる。規格についてはこばやしが2L～L、中央がL～M中心となる。	<p>世田谷花き 秋系も終わり、夏秋に切り替え時で、新盆需要もあり、保合ぐらい。</p> <p>東日本板橋花き 夏場の品種に切り替わり、入荷量が落ち着く。7月盆に向け需要増加。</p> <p>東京フラワーポート 入荷量は増加となる。7月盆需要での価格回復見込み。</p>

バラ	一部の産地で降雹(5/6)による施設の被害あり。	
	平坦地・山間部ともに生育は順調で、品質も概ね良好。平年並みの出荷量を見込む。 改植作業は終盤。改植後の生育もほぼ順調。平年並みの出荷量を見込む。	現 状 父の日で黄色系の品種中心に引き合いがあったものの、その他には大きな需要も無く低調な取引が続いていた。高温や入梅(多湿)による品質低下もあり、上位産地中心の引き合い。
	生育・品質ともに良好である。改植した株も、昼夜の寒暖差が適当であったことから生育は順調。	見通し 大田花き 西南暖地は改植、剪定が進み出荷量は減少傾向。山形県、宮城県、新潟県など高冷地中心の入荷となる見込み。
	梅雨時期の湿度管理や病虫害発生抑制に努めている。生産者によって様々な品種を栽培している。	FAJ 暖地の出荷は減少。上位等級は減少傾向。上位等級は安定相場。下位等級は厳しくなる。 第一花き 特に需要も無い月で、産地・品質格差の単価差は出る、日持ちも良く無い事から厳しい流れが予想される。ST@60 SP@65
	生育は良好で、順調な出荷となる見込み	世田谷花き 入荷量横ばい。山形・群馬中心の出荷となるが、引き合いは鈍い見込み。 東日本板橋花き イベント事は少なくなるため、業務、小売ともに厳しいかも、入荷量は休みに入る生産者もいるため、少なくなる見込み。
	うどんこ病が多少発生している。生育は順調である。	東京フラワーポート 暖地物が減少。価格は安定。前年並の出荷数。